

に対して、 $\lambda \sim 1000 \text{ \AA}$ となり、可視光線より波長が充分短い。

現在銀河間ガスは電離状態にあるが、従来電離のメカニズムは、キューサーや活動銀河からの光子によると考えられてきた。しかし、この光子との衝突によって、銀河間ガスが加熱され電離される可能性もある(シアマ1980)。ニュートリノの寿命 τ は、大統一理論のモデルのとり方によって様々の値をもつが、代表的な値 $\tau = 10^{27} \text{ s}$ をとると、個数密度 $n_\nu (10^3/\text{cc})$ のニュートリノの

崩壊率 n_ν/τ と、個数密度 $n_H (\sim 10^{-5}/\text{cc})$ の中性水素の電離率 n_H/t_{ion} は、 $t_{ion} \sim t_{ex}$ に対してほぼ等しい。したがって現在に近い過去に電離が起ったのかもしれない。

8. 終りに

以上のように、ニュートリノの個数、質量、寿命の値は、まだ確定していないので、明確な結果を出す段階にはないが、宇宙論に大きい変革をもたらす可能性は、充分留意しておく必要がある。

雑報

変光星名が付けられた新星など

IAU 変光星委員会から出版されている Information Bulletin on Variable Stars (IBVS) No. 2042 によると、

1981年12月までに命名・登録された変光星の総数は28457星で、本誌1981年7月号で紹介して以来203星が新たに加えられたことになる。新たに変光星名が付けられたのは下表の3星だけで、いずれも本田実氏の発見されたものである。(香西洋樹)

	星名	α (1950.0)	δ	発見者	発見日
1.	Nova CrA 1981 =V693 CrA	18h38m5	-37°34'	M. Honda	1981 Apr. 2
2.	Nova? Cyg 1980 =Honda's Variable in Cyg 1980	21h40m8	+31°14'	M. Honda	1980 Nov. 29
3.	Nova Sgr 1980 =V4065 Sgr	18h16m5	-24°45'	M. Honda	1980 Oct. 28

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価380円(〒70) '83-1月号・12月4日発売!

1月のおもな内容

- ★1983年は流星群の条件が最高! 1年間の流星群の状況を毎年恒例の富岡啓行さんから。ペルセウスも最良!!
- ★観測ガイド=本号では発売日の関係で1982年12月30日の月食観測法の詳細を中心に紹介。ほかに好条件で1月4日極大を迎える『りゅう座流星群』
- ★マイコン教室が装いを新たに連載開始。担当は中野圭一さん。今回からプログラムも掲載します。
- ★流星のFM観測をコンピュータを使って受信、記録することを始めた人がいます。北海道の柴田さんから。
- ★ほかに、同好会だより、私の愛機、彗星ガイドなど、1983年も毎月魅力ある内容をお届けします。乞ご期待

創刊35年
他の追隨を許さない!

天文年鑑 1983

定価480円★大好評発売中

B6判のハンディサイズ、
星空への便利な案内書。

毎年、毎年 爆発的に売れています

1月から12月までの空の案内のほかに、

惑星、小惑星、流星、彗星、
新星、変光星の一年間の予報、
天体観測に最低限必要なデータ、
前年の天文界トピックス
などを満載した 観測必備書

誠文堂新光社 〒101 東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京7-6294 電話03(292)1221